

腸管出血性大腸菌とは(消毒方法について)

腸管出血性大腸菌とは、人の腸に普通にいる大腸菌と同じ仲間ですが、下痢や尿毒症を起こすことのあるベロ毒素を生み出す菌です。ベロ毒素を産生する可能性のある種類としては、O157, O26, O111, O128, O145 などがあります。大腸菌は「O抗原」とよばれる菌の成分違いによって番号を付けて分類されています。O157はO抗原の157番目という意味です。



感染経路は、菌に汚染された飲食物を食べるか、患者の便で汚染されたものを口にする事によって感染します。

症状が出るまでの期間は、平均して4～8日間ですがもっと短い場合もあります。

症状は無症状から軽い腹痛や下痢を伴うもの、さらには頻回の下痢、激しい腹痛と血便などがあります。症状がある方の一部は、症状が出てから2週間以内に溶血性尿毒症症候群や脳症を起こす場合があるので注意が必要です。溶血性尿毒症症候群は腎機能障害、血小板の減少、貧血の3症状を特徴とする重篤な病気です。

1. 汚染物の消毒

主な消毒対象は、患者の便で汚染された可能性のある箇所(水洗トイレのレバーやドアのノブなど)です。

1) 消毒薬

薬品名 腸管出血性大腸菌に対しては、有効な消毒薬は以下のものです。

- ・消毒用エタノール
- ・第四級アンモニウム塩 (商品名: オスバン、逆性石けん液(デアミトール)など)
- ・次亜塩素酸ナトリウム (商品名: ミルトン、ピューラックスなど)
- ・両性界面活性剤 (商品名: テゴー、ハイパールなど)

また、80℃・10分間の煮沸消毒も有効です。

消毒薬は薬局で購入可能です。消毒薬の濃度や使用方法は薬剤の添付説明書を参考にします。家庭にあるものとして、キッチンハイター(次亜塩素酸ナトリウム)が使用できます。作り置きはしないで、使用してください。

(例)デアミトール(10%)0.05%
又はキッチンハイター0.02%で
拭き取り消毒をする場合:
バケツにペットボトルのキャップ2杯分の消毒液(約10ml)を入れ、次に水を2Lを入れ、希釈して使用してください。



消毒対象	トイレの室内ふき取り	衣服のつけおき	台所のふき取り	手指の消毒
第四級アンモニウム塩	○	○	○	○
消毒用エタノール	○	×	○	○
両性界面活性剤	×	×	○	○
次亜塩素酸ナトリウム	○	○	×	×

2) 消毒方法

①**トイレ** ・手の触れる機会の多いドアやドアノブ、水洗レバー、便器、手洗い場の蛇口、床などを消毒薬でよくふきます。

- ・浄化槽の場合、消毒薬を浄化槽内に流し込んではいけません。
- ・処理槽や消毒槽が正常な機能をしていれば、菌が増えたり、生きた状態で槽外へ出ることはありません。したがって、浄化槽(塩素による消毒槽)の状態を専門業者に点検してもらう必要があります。

②**患者さんの便に汚染された衣類**

- ・便の汚染が考えられる下着・寝具・タオル・ハンカチは、消毒薬に浸してから洗濯するようにします。
- ・家族のものとは別にして洗濯し、天日で十分に乾かしましょう。また煮沸でも十分です。

③おむつ交換

- ・患者さんの便を処理する場合（おむつの交換など）には使い捨ての手袋を使います。
- ・使い捨て手袋を用いた場合には使用後に手を消毒します。

④書籍類（学校など）

- ・消毒の必要はありません。患者さんが小児で、おもちゃなどがあれば、消毒薬でふき取ります。

⑤入浴

- ・患者さんの入浴はできるだけ浴槽につからず、シャワーかかけ湯にします。
- ・お風呂に入る場合は、家族が入浴し終わった後に入り、他の人と一緒に入らないようにします。
- ・最後に風呂の水は流して、十分に浴槽用洗剤で洗浄します。バスタオルは、家族とは別の物を使います。

2. 食事について

①台所の消毒

- ・よく掃除し、流しや蛇口、食器棚や冷蔵庫の扉(取っ手)などは消毒薬でよくふきます。使った食器類は、洗剤と流水で洗います。

②注意点

- ・患者さんも家族も調理や食事前、トイレの後には、手を流水（汲み置きの水は使わない）と石鹼でよく洗います。
- ・生の魚や肉などを切った後に、同じまな板で生で食べるような果物や野菜などの食品や調理済の食品を切らないようにします
- ・包丁、まな板、食器などは、洗剤と流水で洗った後に熱湯をかけると消毒効果があります。
- ・加熱する料理のとき、食品の中心部の温度が75度1分間以上の加熱が必要です。
- ・例えば、0-157は室温でも5～20分で2倍に増えてしまいますので注意が必要です。
- ・井戸水を使用する際は、水質に十分注意が必要です。



3. 便の検査を受ける方へ

家族や患者さんと飲食をともにした方は、健康調査が必要です。検便は保健所で無料で行います。

* プライバシー保護には十分配慮いたしますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

・便は細菌検査をしますので、排便後ただちに次の手順で、便を採ってください。

図1) 洋式トイレの場合は、通常の逆向きに座って便器にトイレットペーパーをたくさん重ねたものを敷いて排便すると採りやすいようです。

図2) 便の量は、小指の頭ぐらいの量の中に入っているスプーンで採ってください。

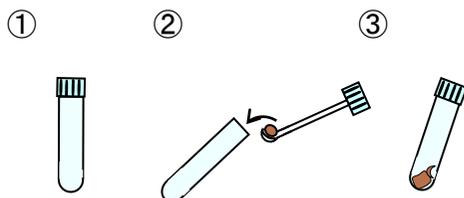
※検査結果について

- ・結果が判明するまでに、通常、便を提出していただいてから3～4日かかります。結果が判明次第、こちらから連絡をさせていただきます。
- ・結果が陰性の場合、感染していても陽性と出ない潜伏期の可能性もありますので、検査後10日間位は健康状態に気をつけてください。もし体調不良時は早目に受診し、接触者であることを医師に伝えてください。なお、ご不明な事やご心配な事等あれば、下記までご連絡くださるようお願い致します。

図1 ◎洋式トイレ ◎和式トイレ 図2



トイレットペーパーをたくさん折りたたんだもの



担当：山形県 村山保健所
保健企画課 感染症対策室
住所：山形市十日町1丁目6-6
TEL：023(627)1105

